

中央市

令和8年10月発行

地域包括支援センターだより

ご存じですか？



中央市認知症初期集中支援チーム

中央市では、認知症になっても本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域でその人らしく暮らし続けるために、認知症の人やその家族に早期にかかわる「認知症初期集中支援チーム」を設置し早期診断・早期対応にむけて支援をしています。

対象となる人は？

40歳以上の自宅で生活している認知症の人や
認知症が疑われる人で

- ◎認知症の診断を受けていない人や治療を中断している人
- ◎適切な医療サービスや介護サービスを受けていない人
- ◎医療サービスや介護サービスを利用していても症状が悪化して対応に悩んでいる人 など



チーム員はどんな人たち？

医療・福祉・介護の専門家たちによって構成されています。

- ◎認知症専門医 ◎介護支援専門員
- ◎保健師 ◎社会福祉士

\\ どんなことをするの？ //

家庭訪問を一定期間（おおむね6カ月以内）行い、本人の認知機能や健康状態を確認し、医療の受診や適切な介護サービスにつながるよう支援します。
また、ご家族の方へ対応の方法などを一緒に考える支援を行います。

認知症の困りごと・心配ごと、どんなことでもまずはご相談ください！

中央市地域包括支援センター （中央市役所 福祉部長寿推進課内）

中央市臼井阿原 301 番地 1

電話：055（274）8558

FAX：055（274）1125

営業日：月曜日～金曜日

午前8時30分～午後5時15分

休業日：土・日・祝日・年末年始

事業実施地域：中央市全域

職員体制：管理者、主任介護支援専門員
社会福祉士、保健師、事務員

9月アルツハイマー月間活動

1994 年、国際アルツハイマー病協会 (ADI) は、世界保健機関 (WHO) と共同で毎年9月21日を「世界アルツハイマーデー」と制定し、この日を中心に認知症の啓蒙を実施しています。また、9月を「世界アルツハイマー月間」と定め様々な取り組みを行っています。これにあわせて、庁舎は認知症支援を象徴するオレンジ色にライトアップされました。

中央市地域包括支援センターでは「認知症 声をかけ みんなで支え合う 笑顔のまち」をスローガンに掲げている田富地区小地域ケア会議※と協同し、9月のアルツハイマー月間にあわせて長寿推進課カウンター、田富図書館、玉穂生涯学習館、豊富図書館で認知症啓発のため認知症関連図書やチラシの掲示を実施しました。今年は、さらに多くの方に認知症について知ってもらえるよう、オギノリバーシティ店、一瀬歯科医院、西野内科医院にも協力してもらいました。

啓発活動により認知症への正しい理解が進むことで、いつまでも住み慣れた地域で暮らし続けることができるようになる信じ、これからも活動してまいります。

※小地域ケア会議とは…中央市になる前の旧町村単位(田富・玉穂・豊富)を小地域として、それぞれの地域が抱えている課題とその解決方法を考える話し合いの場です。



・・・オレンジカフェのご案内♪・・・

オレンジカフェは、アルツハイマー月間だけでなく毎月開催しています。認知症本人や家族、地域の方などみなさんが「楽しい時間」を過ごせるよう、季節を感じられる飾り付けやイベントを行っています。また、介護経験者や認知症相談員もいるため、心配ごとの相談にも応じることができます。

◎オレンジカフェ中央

〈日程〉毎月第4金曜日 〈時間〉午後1時30分から午後3時

〈場所〉玉穂総合会館 多目的室1-5 (中央市下河東620番地)

◎オレンジカフェらくえん

〈日程〉毎月第2土曜日 〈時間〉午後1時30分から午後3時30分

〈場所〉グループホームらくえん倶楽部 (中央市極楽寺745番地1)

興味がある方は、地域包括支援センター(055-274-8558)までご連絡ください。

